

宮城県感染症発生動向調査情報(第24週)

宮城県【平成25年06月20日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.6.10 ~ 6.16 ・ 第24週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第21週	第22週	第23週	第24週
水痘	16 3.20	10 1.00	8 1.60		14 4.67			38 1.46	86 1.48	1,931	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎		3 0.30			2 0.67	2 0.40		6 0.23	13 0.22	542	○ →	○ →	レ →	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	24 4.80	55 5.50	7 1.40	11 5.50	16 5.33	19 3.80	3 1.50	171 6.58	306 5.28	10,325	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	5 1.00	2 0.20		2 1.00		1 0.20		3 0.12	13 0.22	220	→	→	→	
伝染性紅斑	9 1.80	3 0.30	1 0.20				6 3.00	15 0.58	34 0.59	289	→	○ →	レ →	○
突発性発しん	4 0.80	2 0.20	4 0.80	4 1.33	5 1.00	1 0.50	1 0.50	24 0.92	44 0.76	852	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ		2 0.20	2 0.40	12 6.00	13 4.33	2 0.40	4 1.00	8 0.19	14 0.15	15,664	◎ →	◎ →	レ →	
インフルエンザ	1 0.13		1 0.13				5 1.00	9 0.35	20 0.34	428	→	○ →	○ →	レ
咽頭結膜熱	1 0.20		1 0.20	2 2.00	4 2.00	1 1.00		5 0.35	20 0.34	72	→	→	→	
流行性角結膜炎	1 1.00	3 1.00				1 1.00		5 0.42			→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30 6.00	25 2.50	10 2.00	2 1.00	7 2.33	25 5.00	1 0.50	30 1.15	130 2.24	2,760	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	2 2.00				13 13.00	3 0.60	20 1.67	469	→	○ →	レ →	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症						1 0.20	1 0.04	2 0.03		246	→	→	→	
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科) 2 11 1 2 1 6 2 6 5 川崎病 6 不明発疹 5													

今週の全数報告疾病

- *男児、女児は6歳未満
- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 男性1名(第17週)、女性1名(第23週)
 - 登米管内 女性1名
 - 仙台管内 男性1名(第21週)、男性3名、女性2名
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌
 - 塩釜管内 女性1名
 - 仙台管内 男性1名
 - 4類感染症: つつが虫病
 - 仙台管内 男性1名
 - 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名
 - 侵襲性インフルエンザ菌感染症
 - 仙台管内 *女児1名
 - 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 大崎管内 男性1名
 - 風しん
 - 塩釜管内 男性4名(検査診断例)
 - 仙台管内 男性1名(検査診断例)
 - 女性1名(第23週、検査診断例)、女性2名(検査診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント - 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

- 【水痘】 登米管内で注意報値を超えた。
- 【伝染性紅斑】 気仙沼管内で警報継続中。
- 【ヘルパンギーナ】 栗原管内で警報値を超えた。
- 【風しん】 全国的な傾向と同様に県内でも流行が継続している。今週あらたに8例の報告があり、2013年の累積報告数は72例となった。今後も流行の拡大を防止するためにも、予防接種を受けることを検討してほしい。

【病原体検出情報】

- ～宮城県保健環境センター～
- 感染性胃腸炎患者より
- | | | | |
|------|---------|-----------|----|
| 塩釜管内 | 第21週採取分 | ロタウイルス遺伝子 | 1件 |
| | 第23週採取分 | ロタウイルス遺伝子 | 1件 |
- ～仙台医療センターウイルスセンター～
- | | | |
|-----------------|-----------|-------------|
| 第22週採取分 | 第23週採取分 | 第24週採取分 |
| (5.27～6.2) | (6.3～6.9) | (6.10～6.16) |
| パラインフルエンザウイルス2型 | 1件 | 0件 |
| パラインフルエンザウイルス3型 | 3件 | 0件 |
| RSウイルス | 0件 | 2件 |
| アデノウイルス | 0件 | 1件 |
| サトウカボチャウイルス | 1件 | 0件 |

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第20週	19.8	38.8	17.2	1.7	6.0	5.2	4.3	0.9	2.6	2.6	0.9	116
第21週	13.1	41.1	22.4	6.5	2.8	4.7	1.9	5.6	0.0	0.9	0.9	107
第22週	23.2	43.9	20.7	1.2	0.0	4.9	3.7	2.4	0.0	0.0	0.0	82
第23週	30.0	35.0	10.0	0.0	5.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20
第24週	0.0	57.1	35.7	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第22週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(5.12)、宮崎県(2.32)、福井県(1.97)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は368例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。佐賀県(2.43)、鹿児島県(1.47)、宮崎県(1.42)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。福井県(4.00)、新潟県(3.89)、鳥取県(3.84)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。長野県(10.98)、新潟県(10.97)、山形県(10.80)が多い。水痘: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。愛媛県(3.05)、山口県(3.00)、宮崎県(2.92)が多い。手足口病: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。佐賀県(3.30)、福岡県(3.13)、沖縄県(2.62)が多い。伝染性紅斑: 定点当たり報告数は減少した。富山県(0.90)、宮城県(0.62)、新潟県(0.48)が多い。ヘルパンギーナ: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。佐賀県(0.91)、熊本県(0.90)、富山県(0.69)が多い。流行性耳下腺炎: 定点当たり報告数は増加した。福井県(1.27)、秋田県(1.17)、佐賀県(0.83)が多い。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は減少した。宮城県(2.58)、沖縄県(2.00)、岩手県(1.84)が多い。

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。
宮城県: 51定点
仙台市: 42定点
合 計: 93定点